

## <第1回常任理事会報告>

# 大いに学び、仲間を増やし運動の土台を築こう！

県大会後、第1回常任理事会が6月11日、13名の参加で開催されました。年間の主なスケジュールと方向づけ・仲間づくりなどを検討しました。主な討議は以下のとおり。

### 1. 今年の取り組みの特徴

(1) 「国民投票法」という火種を残したものの、当面の政治日程から憲法改正（改悪）がなくなった事。しかし、「いつでも・どこへでも・期限なく・自由に」自衛隊を派兵できる「自衛隊派兵恒久法」が秋の臨時国会に上程される情勢から、各平和委員会が地域・職場で取り組みが求められるよう学習運動に力をいれていく。大会方針の中の安保・憲法・自衛隊の学習を重視し、地域・職場に学習運動を定着させていく。

(2) 運動の土台は仲間づくり・組織力にあります。ここ数年来、仲間づくりは計画的・自主的に各平和委員会が取り組んでいます。茨城には仲間づくりの「復元力」が十二分にあります。今年は県の常任理事・理事と各平和委員会の役員・会員が協力して全力をつくしていきます。7～8月と1～3月に取り組みを集中し、当面、全国大会までに1000名以上を回復するために奮闘します。

### 2. 夏の取り組み

(1) 平和行進・原水爆禁止世界大会などの取り組みや、8月の戦争と平和を考える特別旬間の準備、また学習会など各平和委員会の取り組みを中心にします。

(2) 仲間づくりを県と各平和委員会が一体となって進めます。

(3) 県の取り組みとしては「自衛隊憲法違反」の判断

を下した、名古屋高裁のたたかいを8月お盆明けに学習します。

### 3 秋の取り組み

(1) 9/15～10/14を宣伝カー中心とする全県宣伝行動とします。この間、駅頭・地域宣伝行動も合わせて、出来れば検討します。

(2) 11月3日憲法発布の日に「安保条約・自衛隊・憲法」秋の市民集会を開催したいむね、米軍機くるな茨城実行委員会に申し入れます。

(3) 12月8日太平洋戦争開始の日に新聞意見広告を掲載します。準備は10月から始めます。

(4) 12月にワイン販売を行います。

### 4. 来春の取り組み

(1) 1～3月を仲間づくりに全力をつくします。

(2) 県平和委員会の活動交流集会を3月に行います。

(3) 5・3憲法フェスティバル成功のために奮闘します。

(4) 09年度県大会の日時は諸般の状況を判断してきめ

ます。

5. 常任理事会に次の委員会を置き、各常任理事が担当

します。傍線は責任者。

(1) 組織強化委員会：水野・池田・人見。

(2) 宣伝委員会：松原・稲田・川又。

(3) 学習運動委員会：藤田・飯村。

(4) からわ版編集委員会：加藤・大滝・山口。

(5) 当日、欠席された常任理事には希望を聞いてからと

以上

## 魅力ある平和委員会をめざして 仲間づくりに邁進しよう

市民団体としての平和委員会にはふたつの活動分野があります。ひとつは平和運動と平和委員会の存在を理解してもらうために多くの県民に働きかける活動です。もうひとつはそれを支えていく私たちの組織を大きくたくましく育てる活動です。また、私たちの組織はその市民的団体として、いろいろな考えの方々がおり、積極的に活動にたずさわっている人、仕事が忙しい人、体の不自由な人など、さまざまな方が参加されているのも当然です。要はお互いに立場と考え方を理解し合い運動を広めていく事にあります。ともすると、運動の歴史から活動家が中心となってきた事から、心ある人も平和委員会に参加する事を躊躇してきたきらいがありました。しかし、いまは魅力ある市民の運動をめざしています。平和委員会の運動を理解して参加してもらえる人々は県民300万人のなかで1000名足らずで

は無いはずで、私たちはもっともっと自信と確信をもって胸を拡げ、はばたき、多くの方々に入会を呼びかける大胆さが必要です。

第1回常任理事会は現在985名となった会員を6月28日の全国大会までに1000名以上に回復する事。さらに今年1年間、仲間づくりと組織強化に全力を注ぐ決意をいたしました。

茨城県平和委員会は1000名を回復する「復元力」はこれまでの運動の力量から充分備わっています。今こそ平和委員会の底力を発揮しようではありませんか。

各理事・役員の方々とお会員のみなさんに訴えます。

まず、各平和委員会（平和の会）で話し合う場をつくっていただくようお願いします。そして、会員のみなさんと協力して、ひとりふたりからの仲間づくりに多くの会員が参加できるよう話し合ってください。これまでなかった複数組で仲間づくりに取り組むのも効果があるように思えます。

2008年6月11日

茨城県平和委員会第1回常任理事会

## 平和かわら版

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

No. 504  
月3回発行  
2008.6.15



# 9条世界会議で歌う♪

つくばみらい平和の会 芦田 洋治

5月4日、幕張メッセで行なわれた「9条世界会議」に参加しました。9条世界会議は日本国憲法第9条の精神・「武力によらずに平和をつくる」を全世界に広めようということで行なわれました。

日本中から幅広い各層の人々、世界各国からもノーベル賞受賞者や著名な方々も参加されました。全体会では大きな会場がすぐ一杯になり3千名の人が入れないほどの盛況でした。

私は全体会1部で演奏された交響曲第九番の合唱団員として出演しました。何ヶ月も前から弁護士の皆さんと練習を重ね、本番に臨みました。ベートーヴェンの人類の連帯を訴える第九は世界会議にマッチし感動的な演奏になりました。

そして、700名の歌声の皆さんと一緒に「ねがい」の合唱にも出演しました。指揮は池辺晋一郎さんでした。「ねがい」は世界をつなぐ平和の歌として30カ国36言語に訳され歌われています。この日も5カ国の人と一緒に出演しそれぞれの言語で歌いました。

2部「戦争のない世界を創る」では世界で活躍する著名な方々のスピーチが続きました。また、イラクで拘束された高遠菜穂子、アメリカの元陸軍大佐、イラクの人道支援活動家、アメリカの帰還兵、作家の雨宮処凛らのトークセッションが特に印象的でした。

文化行事は「第九」や「ねがい」だけでなく、高橋竹山・普天間かおり・亀淵友香・原田真二・加藤登紀子の歌などもあり、盛り沢山の集いでした。

## 宣伝カー活用のお願

今年から平和委員会専用の宣伝カーが整いました。単独でも複数の平和委員会でも結構です。積極的に県民に平和委員会の訴えをおこないましょう

現在までに、北茨城で6月19・20日、那珂で7月20～8月2日、石岡で8月3～9日の使用が入っています。

# 「戦争・人間・そして憲法9条」

りゅうがさき平和の会 正慶 岩雄

「九条の会・竜ヶ崎」主催の「講演会」が6月7日(土) 竜ヶ崎市民会館小ホールで開かれた。ホール一杯におよそ150名余の参加者があって、大成功をおさめました。

講演に先だって、森美紀子さんの歌がありました。「平和への思いを語り、歌う」と題して「命の詩」(えっちゃん戦争より)、「アメイジング・グレイス」などを熱唱、「ふるさと」を会場のみんなで歌いました。

講演は「戦争・人間・そして憲法9条」というテーマで、品川正治氏がおこないました。

品川氏は経済同友会副代表幹事などを歴任、現在は同終身幹事の方です。氏は「旧制3高」時代の「学徒出陣」(召集)前の学内の状況を語り、「旧制3高」の「自由な雰囲気」について語りました。「中国戦線」に「徒軍」し、戦闘で負傷、いまなお体内に「散弾の破片」を残していることについて語りました。1946年に復員、「日本国憲法」草案を読んで感銘を深くしたことについて語りました。

この「講演会」を準備した「九条の会」は「代表」格に鈴木久氏、事務局担当の石川アヤさん、「案内・チラシ」などを精力的におこなった富山勝氏、藤沢宏至氏、町田正昭氏などは「りゅうがさき平和の会」会員です。みんなで支えあって平和運動がすすめられているのです。

## 米軍基地再編・強化反対

# 原子力空母の配備を許すな

### 動く原発が東京湾にやってくる

# 7.13 全国大集会 in 横須賀

日時：7月13日(日) 12:00から  
場所：神奈川県横須賀市  
ヴェルニー公園



【電機9条の会】・【重工産業労働組合】

共催シンポジウム

# 軍需生産を考えるパートII

日時 6月29日(日)

午後1時30分～4時30分

会場 退職金機構ビル8階ホール

港区芝公園1-7-6 電話 03-6672-5121

会費 1000円

(1部) 吉田敏浩さん：フリー・ジャーナリスト

著書 ルポ 戦争協力拒否 (岩波新書)

民間人も戦地へ (岩波ブックレット) など

(2部) 職場・市民団体からの発言

(発言自由/職場はNEC・東芝・日立・三菱重工・IHI・川崎重工などを予定)

「専守防衛」から「海外派兵」への変化が見られるなか、防衛産業(軍需産業)で働く人びとにとっても、「自分たちが作っているものがどのように使われるのか」という問題を、ますます考えざるをえない時代になっていくのではないのでしょうか。

連絡先 電機9条の会 市毛一実 電話 042-584-3826

メール アドレス ichige@aa.bb-east.ne.jp

重工産業労働組合 電話 042-451-0472

メール アドレス juko-uni@agate.dti.ne.jp

## 事務局便り

原子力空母ジョージ・ワシントンが横須賀配備を前に艦内の火災事故を起こし、深刻な被害を受けた。修理のため、ハワイ沖の環太平洋合同演習「リムパック2008」に参加と8月の横須賀港への配備が出来なくなった。  
日本政府は原発等の原子力事故に対し、厳しく事故の詳細と原因の報告を求めている。3千万首都圏住民を放射能の危険に曝すことに通ずるこの火災事故も同様に米国に求めるべきです。皆さん、横須賀に集合しよう。(加)